

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： R.6年 3月 18日

事業所名 Sunny side up

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	3		・活動や状況によって部屋を分けている。また、1人当たり2.47㎡とされているが、100㎡確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	9	1		・定員10名だが、常に6名以上を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10			・車いす用トイレもあり、玄関から、部屋同士も段差をなくしている。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	1		・毎月、職員会議やイベント会議等で、全員で話し合う機会を作っている。 ・仕事始めと終わりに申し送りをして、除法を共有している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1		・保護者からの意向を把握して、次年度に業務改善出来るように努力している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	2		・ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	5	・現在は、第三者による外部評価は行っていない。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	1		・外部研修に色んな職員が参加出来るようにしている。また、職員間でも定期的に勉強会を行っている。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10			・ニーズや課題を分析した上で、個々の成長につながるように、計画書を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	4	1	・アセスメントツールを使用はしていないが、標準化されたアセスメントの領域を参考にして、適応行動の状況を把握するように努めている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1		・毎月、会議を行って活動プログラムを立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	1		・曜日や祝日、子どもたちの反応や成長に応じて、固定化しないようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	3		・まずは学習に取り組み、その後、行事や活動を課題を決めて行っているが、きめ細やかな設定までは出来ていない。	・5領域に沿って、それぞれの子どもに対して課題を設定して支援をしていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	10			・個別で行う机上の活動と集団で行う運動活動やクッキング等のプログラムを計画している。また、定期的に見直しを行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1		・毎日、支援前にその日の確認を行っているが、学休日は打ち合わせの時間がとれないときがある。	・平日のみではなく、学休日も時間を決めて打ち合わせの時間を確保する。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10			・毎日、支援終了後に振り返りを行い、ノートに記載して、休みの職員も把握出来るようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			・日々、その日の利用児の様子を複数職員に確認して、記録のもれがないようにしている。また、支援の方法や方向性について話し合っ進めている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10			・6ヵ月以内にモニタリングを実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	8	2		・自立支援、創作活動、余暇活動の提供、ボランティアの受け入れ等を組み合わせて行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	1		・管理者、児発管だけでなく、その子どものことを把握出来ている職員が参加するようにしている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9	1		・送迎時に情報共有をしたり、行事予定表を頂いたりしている。また、支援会議のときや電話連絡などで共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	3	1	・退院時カンファレンスには参加している。 ・主治医は把握しているが、直接連絡等とはとっていない。	・保護者を通じて、指示を受けることはあるが、保護者の同意を得て、直接主治医に連絡をとることも考慮していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	4	4	・直前に該当する児童がいないためしていない。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	2		・移行先より問い合わせがあれば、保護者の許可を得て情報共有している。 ・移行会議等で情報共有している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	4	・研修は機会があれば参加するが、連携は取っていない。	・今後、必要に応じて連携が取れるようにしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4	2	・児童館を利用したり、ボランティアを受け入れたりして交流を図っている。 ・放課後児童クラブとは交流がない。	・放課後児童クラブとの交流がとれる機会を考えていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3	5	2	・子ども支援部会には参加している。	・今後も積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	1		・送迎時や会議など直接対面出来るときに出来るだけ情報共有するようにしている。 ・必要に応じて、電話での連絡やHUGで連絡している。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	6	1	・支援の関わり方やアドバイス等は行っているが、ペアレント・トレーニングは行っていない。	・今後もトレーニングとまでは言えないかもしれないが、保護者に対してアドバイス等を行い、支援していきたい。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	1		・契約時に説明を行っている。 ・支援の内容については、会議等で行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	1		・相談があれば、送迎時や電話、会議等で助言や支援を可能な限り実施している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	2		・保護者交流会を開催したが、参加率は低かった。しかし、兄弟姉妹の参加等があった。	・定期的に開催をして、多くの参加が促せるようにして保護者同士の連携を支援していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			・管理者を窓口として伝えており、その他送迎等で苦情があった場合は、管理者に伝えて迅速に対応するようにしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10			・毎月リフライ通信を発行して、活動概要を伝えている。 ・毎月行事予定表を発行して伝えている。	・連絡体制は伝えているが、十分ではないので、定期的に伝えるようにする。
	35	個人情報に十分注意している	10			・カギをかけた書庫に保管するなど十分に注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	1		・それぞれ個別に、書面や電話、HUGなどで情報伝達するようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	4	・感染対策の観点から、実施は出来ていないが、ボランティアは受け入れている。	・地域との交流について、現在検討中である。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	6		・作成はしているが、保護者への周知は不十分である。	・保護者への周知を今後実施していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			・避難訓練を定期的に実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			・年2回の研修を実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	1		・事前に保護者に十分説明して了解を得た上で、計画書に載せて実施している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	1		・保護者を通して情報を得て対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			・作成して、全職員で閲覧するなどして共有している。	